

# 東白杵南部地域の普及活動（普及活動月報）

令和6年5月 東白杵農林振興局  
（東白杵南部農業改良普及センター）

## 目次

- I 管内農業・農村の出来事や新たな動き (P2)
  - 1) 【全域】5月期子牛セリ市の開催
  - 2) 【全域】5月期子牛郡共進会の開催
  - 3) 【日向市、門川町】ハウスへべすの初出荷
  - 4) 【椎葉村】むらおこしグループ連絡協議会総会の開催
  
- II 主な普及指導活動等の取組み
  - 1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動 (P3～5)
    - 1) 【日向市】農業経営改善計画の認定審査会及び認定農業者連絡協議会総会を開催
    - 2) 【全域】日向地域農業再生協議会担い手対策部会を開催
    - 3) 【全域】日向地域農業再生協議会労力サポート部会を開催
    - 4) 【門川町】新規就農相談会を開催
    - 5) 【諸塚村】梅雨明け後の摘採に向けた一番茶後剪枝指導を実施
    - 6) 【美郷町】日本草地種子協会展示ほにおける収量調査の実施
    - 7) 【全域】冬春ミニトマトのR7年産作付計画検討を実施
    - 8) 【諸塚村】夏秋ミニトマト作付前講習会で難防除害虫対策を指導
    - 9) 【美郷町】冬春ミニトマトの作終了後のハウス管理を指導
    - 10) 【椎葉村】ほうれんそう施肥設計支援や栽培計画の聞き取りを実施
  
  - 2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動 (P6～8)
    - 1) 【全域】東白杵南部農業改良普及事業協議会総会を開催
    - 2) 【全域】早期水稻生育調査を実施（1回目）
    - 3) 【日向市】普通期水稻新品種候補系統の播種
    - 4) 【諸塚村】夏秋ミニトマト現地巡回で日照不足対策を指導
    - 5) 【全域】野菜部会できゅうりの産地ビジョンを検討
    - 6) 【日向市・美郷町】サカキの基本的栽培方法と病虫害対策を指導
    - 7) 【日向市】シキミのサビダニ対策と熱中症対策を指導
    - 8) 【美郷町】うめ着果状況調査を実施
    - 9) 【椎葉村】ミニトマトの全戸巡回を実施
    - 10) 【椎葉村】ラナンキュラス実績検討会を開催

# I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

## 1) 【全域】5月期子牛セリ市の開催

19～20日、東臼杵市場で5月期子牛セリ市が開催され、雌255頭、去勢262頭、合計517頭（管内：雌164頭、去勢171頭、合計335頭）が取引されました。

平均価格は雌468,572円、去勢550,118円、合計 511,665円（管内：雌468,566円、去勢548,019円、合計509,123円）で取引され、前回セリと比べて雌で 70,025円減、去勢で63,879円減、合計で68,339円減となり、厳しい状況となりました。

また、今回はセリ前研修会において、振興局より令和6年度の補助事業の説明があり、相談ブースには補助事業の活用について、質問に訪れる生産者も見られ、関心が高い様子でした。



【5月期子牛セリ市】

## 2) 【全域】5月期子牛郡共進会の開催

10日、東臼杵市場で5月期子牛郡共進会が開催され、35頭が出品されました。優等首席には、北川の山口勇登氏の「ももか」号が選ばれ、管内では優等4席に西郷の藤島文彦氏の「まりん335」号、優等5席に諸塚の岡田忠重氏の「ももさてん」号、優等7席に東郷の伊東健児氏の「だいにち1068」号が選ばれました。

登録協会からは、出品牛は全体的に発育良好で体積に富み、特に首席は輪郭鮮明で身体の伸びが良いとの講評がありました。

今回は出品牛が多く、活気のある品評会となりました。

また、郡品後には優良基礎雌牛の保留選定会議が開かれ、今回の出品牛の中から、地域の種雄牛造成に向けて地域内に雌牛が選ばれました。



【登録協会による審査】

## 3) 【日向市、門川町】ハウスへべすの初出荷

27日、ハウスへべすの初出荷が行われました。

今年は平年に比べて気温が高く推移したこともあり、やや生育が早まったため、若干収穫開始を早めることになりました。

初日は生産者2名分の約50kgが出荷、選果されました。今年産から選果機が門川町へ移設されましたが、当日は多くの報道関係者が集まり、注目の高さがうかがえました。

なお28日の市場での初競りでは、近年にない高単価で取引されました。



【へべすの初出荷】

## 4) 【椎葉村】むらおこしグループ連絡協議会総会の開催

30日、椎葉村役場において令和6年度の総会が開催され、会員15名と関係機関9名が出席しました。

実績・計画の協議がスムーズに承認され、役員改選も行われました。また、総会后には、村の魅力や持続可能なものづくりについて、みやざきフードビジネス相談ステーションから講師を招いて研修会が行われました。

協議会には村内9つの加工グループが所属しており、それぞれに地域の特産物を活かした商品の製造販売に取り組まれています。

今年も「椎葉うめえものコンテスト」や平家まつりへの出店等、多くの行事が計画されており、地域の活性化が期待されます。



【むらおこしグループ  
連絡協議会総会】

## Ⅱ 主な普及指導活動等の取組み

### 1 プロジェクト（基本、専門、重点）に関する普及活動

#### 1) 【日向市】農業経営改善計画の認定審査会及び認定農業者連絡協議会総会を開催

22日、日向市役所で認定農業者の農業経営改善計画認定審査会が開催され、関係者8人で審査しました。

新規1件（園芸）、更新2件（畜産2件）の計3件が全て承認されました。

また、23日には認定農業者連絡協議会総会が開催され、会員及び関係者約30人が出席し、令和6年度の活動計画等を協議しました。

今後も関係者が一体的に認定農業者の支援を行っていきます。



【日向市認定農業者  
連絡協議会総会】

#### 2) 【全域】日向地域農業再生協議会担い手対策部会を開催

9日、普及センターで、関係者18名が出席し、担い手対策部会の全体会議を行いました。

会議では、昨年度実績報告及び今年度計画等について検討が行われ、若手農業者を対象とした意見交換会の開催を決定すると共に、今後の就農研修の受入体制の方向性について共有することができました。

今後も定期的な部会開催や各種活動を通して、担い手確保に向けた対策を検討していききたいと思います。



【第1回担い手対策部会  
全体会議】

#### 3) 【全域】日向地域農業再生協議会労力サポート部会を開催

9日、普及センターで、関係者21名が出席し、今年度第1回の全体会議を開催しました。

会議では、昨年度実績と今年度計画、関連事業紹介等の内容を検討しました。

計画では、労働力募集アプリの導入検討に向けた情報共有や意見交換を行い、今年度、新たな取り組みとして管内で実証していくことになりました。

このほか、先進事例調査や農福連携推進、労務管理研修等の取り組みを計画しており、関係者とともに労力確保対策を推進していきます。



【第1回労力サポート部会  
全体会議】

#### 4) 【門川町】新規就農相談会を開催

1日、門川町役場で、門川町、普及センター、JAの関係者合計6名が出席し、新規就農相談会を実施しました。

相談者は、きゅうりでの就農を希望しており、相談会では就農までの流れや就農に活用できる事業の説明などを行いました。

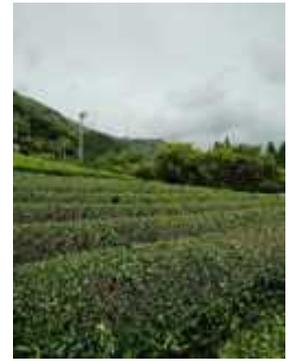
今後、就農希望品目である、きゅうりの産地見学や就農場所の検討を行うなど、関係者と協力して、円滑に就農できるよう、継続的に支援していきます。

## 5) 【諸塚村】梅雨明け後の摘採に向けた一番茶後剪枝指導を実施

22日、諸塚村の茶園にて、ウーロン茶研究会員2名に対して梅雨明け後に二番茶を摘採するための剪枝指導を行いました。

諸塚村では二番茶を用いたウーロン茶製造に取り組んでおり、製造過程で日干萎凋という作業が必要になることから摘採は梅雨時期を避けることが望まれています。今回は7月上旬から摘採できるように、通常管理に比べて少し深めに剪枝しました。

今後は生育観察や二番茶の収穫時期の調査を通じて、梅雨明け後の摘採が可能な剪枝方法を検討していきます。



【剪枝後の茶園】

## 6) 【美郷町】日本草地種子協会展示ほにおける収量調査の実施

2日、美郷町西郷に設置している日本草地種子協会展示ほの収量調査(1番草)を実施しました。

この展示ほは、管内で栽培事例の少ないオーチャードグラス(新品種:まきばゆうか)が管内地域で適応するかを確認するとともに、飼料の増産を目指すことを目的としています。

調査の結果、生育途中に雑草が多く見られましたが、生育良好で病気等の発生も見られず、管内地域に適合する品種であることが確認されました。

今後は、栄養成分分析を行い、研修会等で結果を農家に周知し、管内の飼料生産技術向上を図っていきます。



【収量調査時の生育状況】

## 7) 【全域】冬春ミニトマトのR7年産作付計画検討を実施

7日と9日、10日の3日間、JAとともに、日向市、門川町のJA各支店、美郷町は現地巡回において、生産者26名と個別面談を行いました。今期作の出荷実績や栽培管理の振り返りを行い、次作の作付け品種や定植時期の検討を行いました。生産者からは、4月の日照不足による出荷量減の反省が多く聞かれました。

次作は8月から定植が始まる予定です。引き続き、出荷量向上に向けて支援をしていきます。



【摘芯後の  
冬春ミニトマト】

## 8) 【諸塚村】夏秋ミニトマト作付前講習会で難防除害虫対策を指導

23日、諸塚村家代において、生産者2名、関係者3名が参加し、集落営農法人えしろの夏秋ミニトマト養液栽培定植前講習会を開催しました。

講習会では、今年の1月に実施した実績検討会で生産者と共有した課題である、コナジラミ対策や作業の適期実施について説明をしました。

生産者からは、講習を受け、化学的防除だけに頼らないコナジラミ対策を実施するという意見が出ました。

今後も定期的に巡回を実施し、栽培技術の向上を支援していきます。



【夏秋ミニトマト  
作付前講習会】

## 9) 【美郷町】冬春ミニトマトの作終了後のハウス管理を指導

24日、JA西郷支店で、生産者10名、関係者3名が出席し、冬春ミニトマト美郷支部定例会が開催されました。

定例会では、各生産者の栽培管理状況や販売実績の検討が行われました。普及センターからは、作終了後の蒸し込み徹底、コナジラミ等を出さない対策を指導しました。

今作は、年明け以降の天候不順に苦しむ年になったという声が生産者から聞かれました。

R7年産では、定植直後の高温対策や長雨日照不足対策への技術を周知し、出荷量の落ち込みを少しでも小さくできるように支援していきます。

## 10) 【椎葉村】ほうれんそう施肥設計支援や栽培計画の聞き取りを実施

7日、ほうれんそうの新規就農者に対し、土壌分析に基づく施肥設計支援や、その他面談を実施しました。

普及センターで実施する研修への参加も促しながら、地域の貴重な担い手として関係機関と連携して支援を行っていく予定です。

また、ほうれんそう専門部のハウス巡回を行い、今年の栽培計画、生育状況の聞き取り調査をスタートしました。

年度末には時期別の品種選定に関して、生産者間の情報共有が図れるよう調査を行っていく予定です。



【ほうれんそうほ場】

## 2 プロジェクト（基本、専門）以外の普及活動

### 1) 【全域】東臼杵南部農業改良普及事業協議会総会を開催

20日、日向市商工会議所で、東臼杵南部農業改良普及事業協議会の総会を開催しました。

当協議会は、市町村・JA・NOSAIが相互の連携協調を図りながら、協同農業普及事業を円滑に推進することを目的として活動しています。

総会では、令和5年度事業実績等の議案について説明し、承認をいただきました。

今後も関係機関・団体等と連携を図りながら、地域農業の振興を進めていきます。



【普及事業協議会総会での議案審議】

### 2) 【全域】早期水稻生育調査を実施（1回目）

23日、作物部会員7名で日向市及び門川町に設置している奨励品種決定試験圃場と定点圃場の生育調査を行いました。

今年度の奨励品種決定試験では加工用米の品種・系統の比較をしています。奨励品種決定試験では品種・系統間にほとんど差異は見られず、定点圃場の「コシヒカリ」も平年並の生育状況でした。

今年は管内ほとんどの圃場で赤枯症という生理障害が見られましたが、目立った病害虫の発生はなく生育は概ね順調のようでした。調査結果は今後の栽培管理指導に活用していきます。



【茎数の調査】

### 3) 【日向市】普通期水稻新品種候補系統の播種

24日、JA日向地区本部育苗センターにてJA担当者を含む4名で新品種候補系統である「南海189号」及び「南海192号」の播種を行いました。

両系統とも農業試験場で育成され「ヒノヒカリ」より高温時の品質低下が少ないことから、新品種候補と目されています。

今後は6月中旬を目処に移植し、日向地域での適応性検討や「ヒノヒカリ」との収量・品質の比較を行っていきます。



【新品種候補系統の播種】

### 4) 【諸塚村】夏秋ミニトマト現地巡回で日照不足対策を指導

17日、諸塚村内の夏秋ミニトマト栽培ほ場で、生産者8名、関係者4名が参加し、現地巡回が行われました。

定植は主に4月中旬に行われており、日照時間が平年の半分しかなく、日照不足による影響が懸念されましたが、概ね生育は良い状況です。出荷は早くも6月中旬を予定しています。

普及センターからは、日照不足長雨対策の資料を説明し、対策に取り組むよう働きかけました。

今後も定期的な巡回を行い、気象情報の提供や栽培の適期管理を指導していきます。



【夏秋ミニトマト現地ほ場巡回】

## 5) 【全域】野菜部会できゅうりの産地ビジョンを検討

24日、普及センターで、関係者13名が参加し、日向地区営農振興協議会野菜部会を開催しました。

部会では、各品目の生育概況や販売状況、産地戦略ビジョン、みやざき施設園芸産地構築プロジェクト、R6年度県単事業要望、野菜共進会について意見交換を実施しました。

産地ビジョンの検討では、きゅうりを今年度中に策定予定としており、具体的な取組内容について出席者で検討しました。

今後は、策定済みの産地戦略ビジョンの進捗状況も含めて部会の中で共有していきます。

## 6) 【日向市・美郷町】サカキの基本的栽培方法と病害虫対策を指導

10日、美郷町北郷の現地ほ場で検討会を実施した後、室内で栽培講習会を行いました。基本的な栽培方法と病害虫の対策について指導しました。

現地では今後の作業や葉の付き方について意見交換が活発に行われました。

今後も剪定方法に関する指導や優良産地の視察を計画していきます。



【サカキ講習会】

## 7) 【日向市】シキミのサビダニ対策と熱中症対策を指導

20日、JA美々津支店シキミ部会現地検討会が開催されました。参加された8名のほ場を巡回し、管理状況等について確認を行いました。生産者同士で技術を持っている方が率先して発言され、活発な情報交換の場になっていました。

普及センターから、5月に発生が多いサビダニの防除に関する指導と、これから本格的に注意が必要となる、熱中症対策に関する指導を行いました。



【シキミ現地検討】

## 8) 【美郷町】うめ着果状況調査を実施

16日、美郷町南郷のうめ園地にて、生産者1名、関係者3名が参加し、着果状況調査を実施しました。

4年前から園地と調査樹を決めて、毎年同じ時期に調査を行っています。今回の調査の結果、樹により多少のばらつきはありますが、平年に比べて着果が少ない傾向がみられました。果実肥大はやや早いようです。

県外のうめ主産地でも今年は不作とみられており、美郷町産のうめも引き合いが強まることが見込まれます。



【うめの着果状況調査】

## 9) 【椎葉村】ミニトマトの全戸巡回を実施

2日、関係機関と連携して定植が終わった生産者の全戸巡回を行いました。

定植は4月中旬から始まり、2日時点で約6割の定植が進んでいます。日照不足の影響で徒長傾向が見られたものの、概ね順調に生育しています。

巡回では、特に初期の水管理、草勢管理を中心に助言を行いました。

早いハウスでは第2花房が開花しており、6月下旬からの収穫が見込まれています。

今後も定期的な巡回を行い、栽培の適期管理を指導していきます。



【ミニトマトの全戸巡回】

## 10) 【椎葉村】ラナンキュラス実績検討会を開催

8日、JA諸塚支店においてラナンキュラス実績検討会が開催され、生産者3名と関係機関7名が出席しました。

令和5年度の販売実績が協議され、市場からの引き合いが強い品種や次年度栽培する品種等についても活発な情報交換が行われました。

また、総合農業試験場花き部から、定植から活着までの重要性に関する講義や、試験研究の取組に関する情報提供を受け、次年度に向けた改善点をそれぞれ再確認されました。



【ラナンキュラス  
実績検討会】